

平成17年度 第3回 理事会議事録

平成17年12月16日(金) 於：水前寺共済会館

出席者 会長：魚住 事務局長：今坂 研究部長：大岩
理事：柴尾(荒玉) 井上(鹿本) 満田(菊池) 藤原(阿蘇) 坂本(熊本)
中川(上益城) 赤星(宇城) 早田(八代) 森山(人球) 大窪(水葦)
事務局員：高田、有田(総務) 山下、萩尾(事業) 丸塚、大井(会計)

熊本県教育公務員弘済会研究助成金交付式

開 会 会長挨拶 経過報告 議 事

今年度(第31回)大会の反省と総括

第31回県大会の基本総括

1 運営面全体

開会前にステージ幕が下りていなかったことについて、単なる閉め忘れのため次年度は複数でチェックすることを確認。マニュアルにも入れ込む。

2日目の終了時刻が3時30分は少し早すぎるのではないかとの意見があったことについて、県下全体の参加者のことを考え、無理のない時間にしなければならない。日程表の分科会終了時刻を15時30分と表記するのではなく、閉会行事終了を15時40分とする。

総会時の理事の提案場所について、その場(席)で提案することを確認(マイクのチェックをしておく)

委任状の解釈について、総会の結果について委任するものであり採決について委任するものではないことを共通理解。

会場の締め切りについて、今年度同様に行なっていく。会員に知らせる手だてとしては、当日のアナウンスのほか、要項に時間厳守の旨を載せることとする。

また、理事会で確認したことはこの件を含めて必ず地区の会員に伝えていただくことを確認。大会・総会行事時の前列の空席が目立っていたので、動員について事前に再確認をしていただく。

2日目分科会の助言者への水は準備する方向で検討する。

(分科会の会場係が用意、請求は大会会計へ)

来賓受付の位置について、もう少しエレベーターに近い場所に移す方向で検討する。

来賓接待担当の理事が受付から控え室まで案内する。

2 全体研究会について

大会の日程について今後検討していきたい。

会場借用にも絡んでくるので、県教委の行政説明は今後も取り入れていきたい。

熊事研での取組みを地区研に生かしていけたらいい。また、研究成果を共有できるようホームページ等の活用もして欲しい。

文科省の行政説明は大変よかった。毎年お願いできないだろうかとの要望があったので、全事研を通して働きかけをしていく。

3 各分科会の総括と反省

各分科会の担当理事より分科会の内容についての紹介がありました。

1 - 1 (カーネーションサロン)

- ・ 会場の広さはちょうどよかった。

1 - 2 (鶴屋ホール2)

- ・ 発表席と参加者席の間が広すぎた。発表者ステージはなくてもよい。
- ・ 助言者の方のアドバイスが適切でよかった。

2 (鶴屋ホール1)

- ・ 2回ある運営会議を一度は下見を兼ねてパレア等でやって欲しい。
- ・ 助言者2名は予算の確保が可能であれば次年度以降も取り組んでいただきたい。

3 - 1 (パレアホール)

- ・ 机の配置が発表者側に背を向ける格好となってしまったので悪かった。
- ・ 2本のレポートに差があったのでまとめるのが難しかったが、助言者の方の話は適切でよかった。

3 - 2 (パレア会議室1)

- ・ 水葦の会員層が全体的に若いため、司会等苦勞する面があった。参加者の8～9割が水葦と八代からの参加者であったため他地区の話があまり聞けなかったのが残念。

その他

- ・ 各地区1本にこだわらなくていいのではという意見について、会員数も減ってきている地区もあり、負担が大きくなりすぎるようであればレポートの出し方についても検討していく。
- ・ ひとつの分科会を特別分科会に設定し、関係のある地区にお願いすることができないか検討したい。

次年度(第32回)大会について

(1) 次年度の大会期日および現在の借用施設

平成18年10月25日(水)26日(木)で承認されました。

(2) 次年度分科会場の借用について

今年度と同様、鶴屋ホール・カーネーションサロン・パレアを使用することで承認されました。

(3) 会場の推移と賃貸料

「学校事務必携」の作成について

2月末に完成予定。1冊800円で注文をとる。

その他協議事項

(1) 全事研会計等について

総会において採決の結果、全事研の組織加盟が決定されました。

加盟後の会費納入やその他の諸問題などについて協議され、次のように決定しました。

(1) 全事研会計等について

- 1 一般会計と全事研会計を別会計にする。
- 2 会費の納入方法
各地区研で、熊事研会費と同時に、徴収していただく。
全事研会計は、事務局の会計Bが担当する。
- 3 納入開始年度
平成18年度分から納入
- 4 全事研への加盟の時期
平成18年度から加盟
- 5 全事研会費の毎年の納入期限
7月末日をめぐりに納入
- 6 会費納入人員の
二分の一 全事研に会費として納入。
二分の一 評議員会・総会の旅費補助に当てる。
全事研からの評議員会・総会の旅費の措置がないため、多くの県が評議員会・総会の旅費補助として確保してから、二分の一を納める方法をとっておられます。
- 7 評議員会・総会の年間回数(同日午前午後)
年2回(2月、7月)
- 8 評議員会・総会の出席者
支部長(1名) 会長
評議員(1名) 事務局長(評議員は各地区理事を通じて全事研からの資料の周知や、報告物を取りまとめて提出する。)

以上については会報にてお知らせする。

その他連絡事項等

- ・ 県電算化検討委員会についての報告。事務局高田先生を熊事研より選出。
- ・ 標準的職務の進行状況について

閉 会

次回理事会 18年3月3日(金)